

ミニ課題研究にチャレンジ

夏休みの一ヶ月で課題研究に挑戦

高校に入ってまだ1学期が終わったばかりの1年理数科生徒。3学期には2ヶ月かけて課題研究、外部発表をします。そこで夏休みを利用してSSH指定校のなかで希望者が課題研究に取り組み、最後にパワーポイントを作り発表するミニ課題研究プログラムに挑戦しました。

2つのグループが参加しました。物理班と化学班です。物理班は「逃げ水の再現」、化学班は「可視光における光触媒反応」です。どちらも夏休みお盆の時期以外はほとんど実験に取り組み、最後の週は慣れないパワーポイントに苦戦してどうにか発表会に間に合わせました。今年の夏の前半は毎日35℃にもなり、生徒はぐったりしながら実験に取り組みました。

8月30日県立船橋高校で発表会です。当日は物理・地学分野と生物・化学分野に分かれて発表です。多くの学校からさまざまなテーマの発表がありました。とくに面白かったのは船橋高校の「ふなむし」を使った実験で、行動を観察していると途中で疲れて動かなくなって実験がうまくいかないなど実際にやってみないとわからないことが多いと改めて感じました。わが柏高校も多数の実験から可視光で反応する光触媒反応を確認できたことを報告しました。

